プログラム４(3) 『聞こえにくい方への話しかけ方』

生活目標	難聴がある方との上手な会話の仕方を学びましょう
目的・効果	難聴の方とのコミュニケーション力向上

所用時間	活用方法	機能制限	運動姿勢	必要物品
20 分	講話・勉強会			資料 ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲのお題

注意点など	

１．聞こえにくい方への話しかけ方について説明

○　顔や口元が見える位置で、ゆっくり、はっきり伝える。

○　言葉だけでなく「表情」や「口の形」も見せるように意識する。

≪話しかけ方のポイント≫

・　必要以上の大声はいらない

・　大きすぎる声はかえって、音がひずんで聞こえづらくなる。

・「低めの声」は、より聞こえやすくなる。子供の声より大人、女性より男性の声の方が聞き取りやすい。

・　相手が聞き取れないときは同じ言葉を繰り返すのではなく、別の言い方や説明を添えてみる。

例）「ﾀﾏｺﾞ」を「ﾀﾊﾞｺ」と聞き間違えた　→　鶏のﾀﾏｺﾞだよ

・　大事な話は重要な言葉を「文字で書いて」伝える。

・　文で書くのではなく、キーワードを書きながら話をすすめよう。

例）明日は、長男が朝の9時に迎えに来て、〇〇病院まで薬をもらいに行きます。保険証を用意しておいてね。「明日」「〇〇病院」「9時出発」「保険証」等と書きながらしゃべる。書く語順も、必要に応じて変えると分かりやすい。

２．ロールプレイ（≪話しかけ方のポイント≫を実践）

（1）高い声と低い声の聞き比べ　その1

○　高い声と低い声、どちらが聞きやすいかを体験する。

①　参加者やスタッフの中から、声の高い人を選び、セリフを読んでもらう

②　同じく、参加者やスタッフの中から、声の低い人を選び、①と同じセリフを読んでもらう

～まとめ方～

・　声の大きさが同じでも、聞き取りやすい声質と、そうでない声質がある事を体験できたか？

・　声の高い、低いという事を伏せて主催者側が指名して読んでもらい、なぜそちらが聞き取りやすかったか？と意見を出し合ってもよい。

（声の高さ以外でも、何かしらの気づきがあれば、次のロールプレイにも生かしてみる。）

プログラム４(3) 『聞こえにくい方への話しかけ方』（続き）

（2）高い声と低い声の聞き比べ　その2 （自己紹介等の自由会話、もしくはセリフを読む）

○　実際に高い声や低い声で話してみて、相手が聞き取りやすい声の高さを見つける。

①　二人組を作る

②　お互いに高い声で話す

③　お互いに低い声で話す

～まとめ方～

・　同じ人であっても、声の出し方を工夫することで、より聞き取りやすく話すことができる。

・　声の高さ以外で、その人の話し方が聞き取りやすかった理由を考えてみる。

⇒　出された意見を踏まえて、もう一度話してみる。もしくは、セリフを読んでみる。

（3）言い換え体験

○　聞き取りにくい言葉を、できるだけ短く、その言葉を確実に伝えるため、別の言い方や簡単な説明を添えて話をしてみる。

①　二人組を作る

②　聞き取りにくい言葉（例えば「天気」と「電気」、「ｼﾞｬｲｱﾝﾂ」と「ｼﾞｬｲｱﾝ」等）の課題を出す

③　課題について、「空の天気」「ピカッと光る電気」や「野球のｼﾞｬｲｱﾝﾂ」「ドラえもんに出てくるｼﾞｬｲｱﾝ」など、お互いに言い換えて説明をしてみる。

～まとめ方～

・　聞き取りにくい言葉を「よりわかりやすく伝える方法」について意見を出し合い、全員で共有する。

（4）文字で書いて伝える体験

○　大事な話（情報）を、できるだけ簡潔に伝えるため、重要な言葉を文字で書きながら話をしてみる。

①　二人組を作る

②　課題の文を提示し、重要と思う言葉を文字で書きながら相手に伝えてもらう

例）「今日の晩ごはんは、麻婆豆腐と卵スープにするから、○○スーパーで豆腐と卵を買ってきて。あと、のどが痛いので、△△薬局でトローチも買ってきてね。」等

～まとめ方～

・　大事な話を「簡潔に、確実に情報を伝える方法」について意見を出し合い、全員で共有する。

・　文字だけでなく、番号や矢印等の記号も上手に使ってみる。

・　書くだけでなく、文字を示しながら読んで伝えてみる。

ゆっくり話す際には・・・

⇒１音１音区切るより文節で区切って話した方が理解しやすいということも体験してみる。